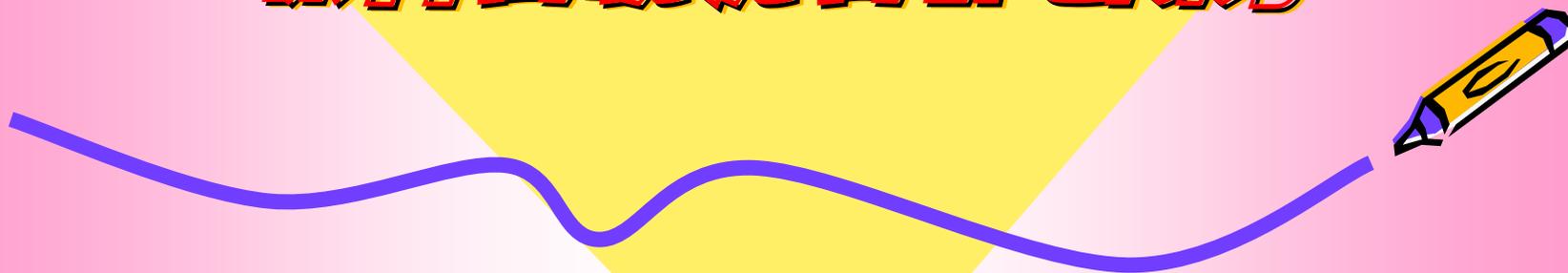


保育園の整備と多機能化に向けて

「保育園統廃合計画案」



背 景

少子化、核家族化の進行や夫婦共働き世帯の増加及び女性の社会進出など、社会状況の変化の中で保育ニーズが多様化しています。また、地域や家庭の養育力の低下による子育ての孤立化や育児に対する負担感・不安感が増加していることから、子育ての環境の充実が今まで以上に求められています。

そのなかで、当町の保育行政は、児童数の動向や保育のあり方を考える中で、施設の耐震化や統廃合を含めた計画的な施設整備及び遊休保育室の有効活用、保育内容の質的充実を図ることが必要です。

今後、厳しい行財政状況ではありますが、効率的かつ効果的な運営を目指し、保育水準を低下させずに経費節減に努めなければなりません。

保育園統廃合の経過

■昭和63年「保育園建設に係る諮問委員会」答申

■平成7年「保育園運営協議会」答申

■平成12年「保育園運営検討委員会」民間委員答申

- ・保育園の適正規模、環境の充実等をふまえ、第一・第三・第六・第八保育園を廃園、新保育園の建設を答申。

■平成16年「保育園運営計画」策定

- ・第一・第六・第八保育園を廃園、新保育園の建設計画。

■平成18年「総合計画」「行革大綱」「行財政経営プラン」

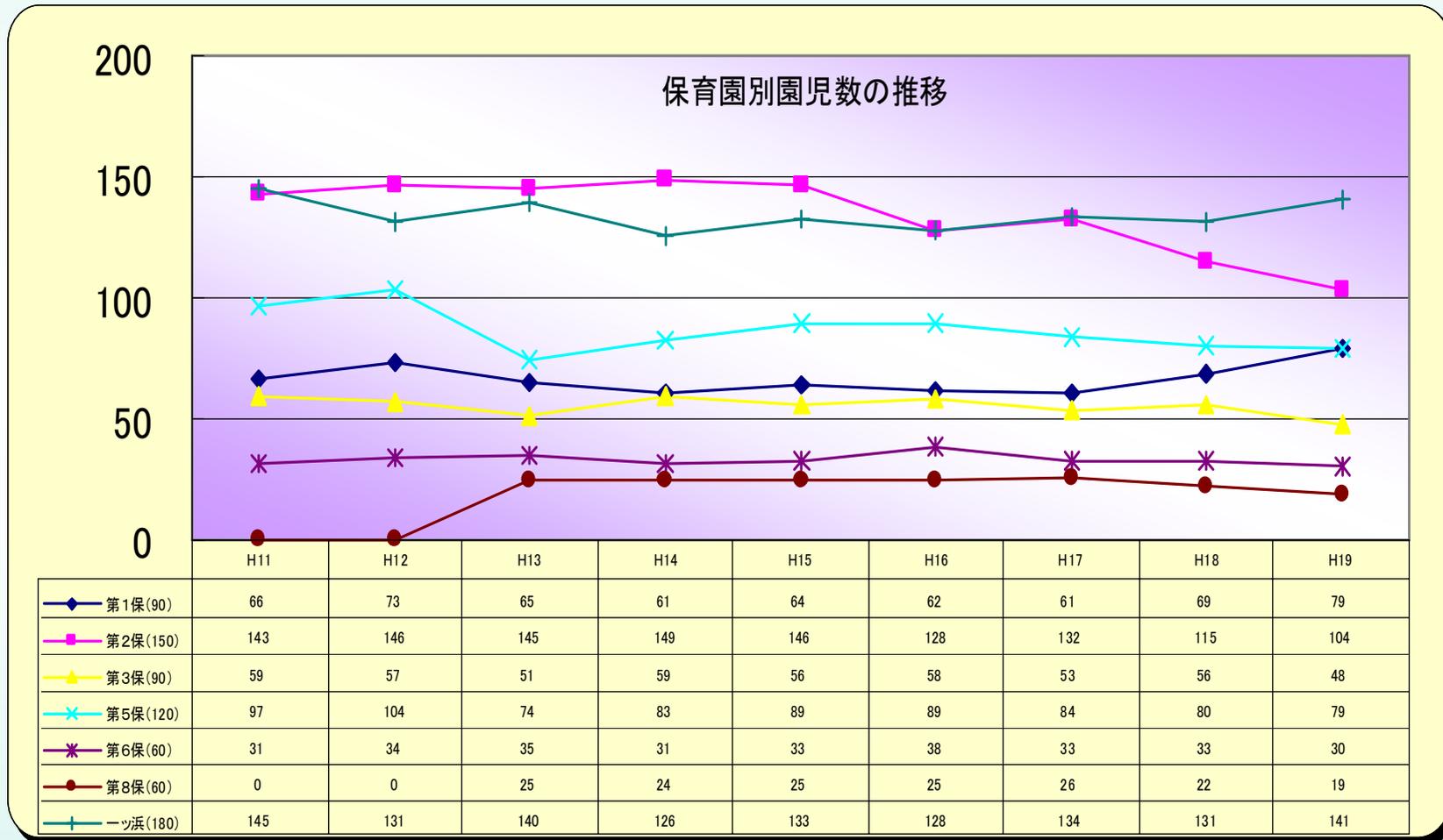
- ・3計画スタート。計画的な耐震・施設整備、統廃合の検討、新設園計画。

■平成18年「保育園あり方検討委員会」民間委員答申

- ・第一・第三・第六・第八保育園を廃園、第二保育園の耐震・改修、第五保育園全面改築、一ツ浜保育園の修繕。3園の同レベルでの運営を答申。

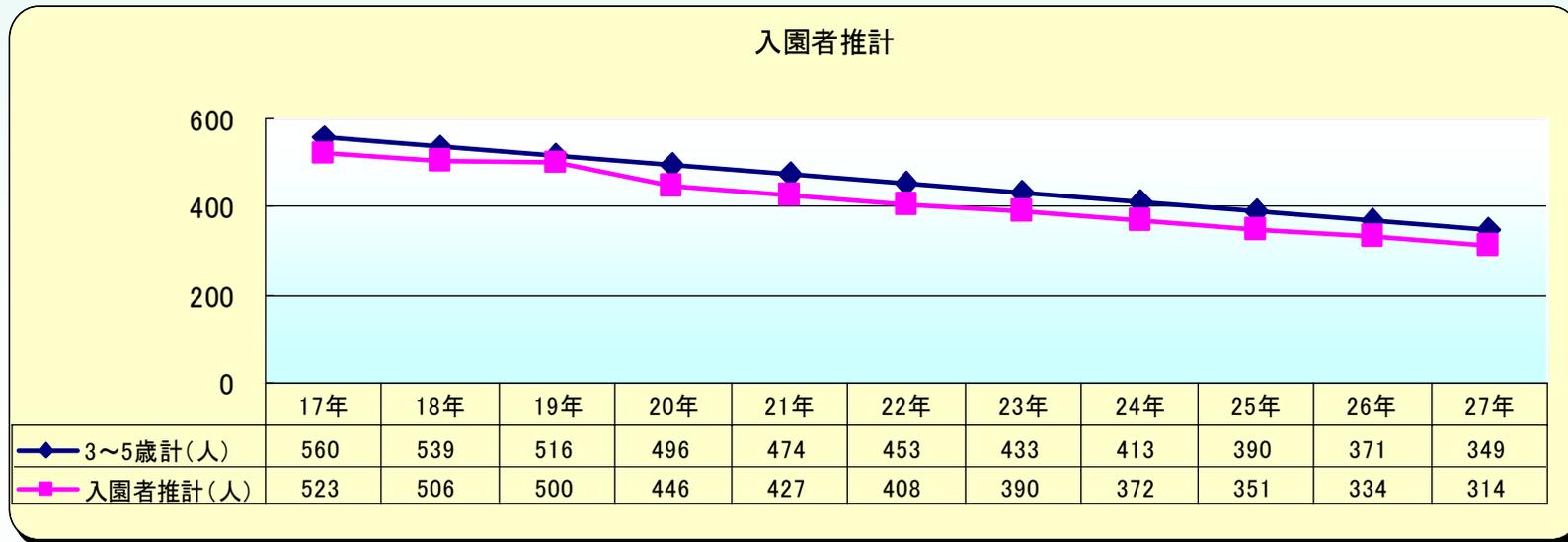
データから見た保育園児状況

■ 保育園別園児数の推移



データから見た保育園児状況

■ 園児入園者推計



年度	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
定員合計	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750
3~5歳計(人)	560	539	516	496	474	453	433	413	390	371	349
入園者推計(人)	523	506	500	446	427	408	390	372	351	334	314
定員割合	70%	67%	67%	60%	57%	54%	52%	50%	47%	45%	42%

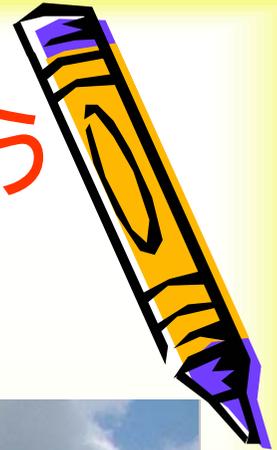
町の方針

- 民間の委員で組織した「保育園あり方検討委員会」の答申を尊重し、第一・第三・第六・第八保育園を廃園。
- 第二保育園の全面改築。
- 第五保育園の全面改築。
- 一ツ浜保育園の改修。
- 未満児保育・早朝保育・長時間保育・一時保育・障害児保育等3園同レベルでの保育の充実と運営。
- 第三保育園を活用した「子育て支援センター」と「高齢者と子供の交流の場」等としての「交流センター」の開設。
- 廃園の有効活用。

現状分析・・保育園を見てみましょう

第二保育園

昭和46年3月建設
鉄筋コンクリート2階建
延べ床面積1402.35㎡
避難地・避難施設
36年経過
昭和56年建築基準法前
建物
定員 150人



現状分析・・保育園を見てみましょう

第五保育園

昭和40年3月建設

木造一部2階建(一部増築)

延べ床面積 835.23㎡

避難地・避難施設

42年経過

昭和56年建築基準法前

建物

定員 120人



保育園統廃合プロジェクト



現状分析・・保育園を見てみましょう

一ツ浜保育園

平成2年3月建設

鉄筋コンクリート2階建

延べ床面積 1637.23m²

避難施設

17年経過

定員 180人



保育園統廃合プロジェクト



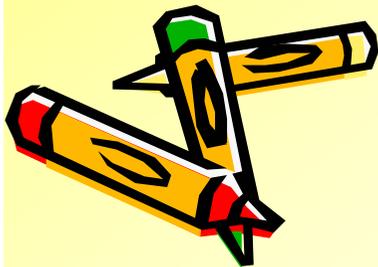
保育園の配置



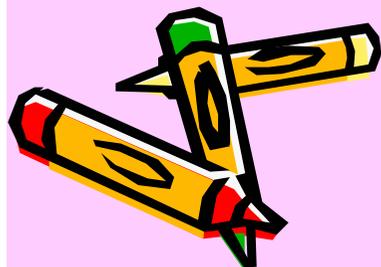
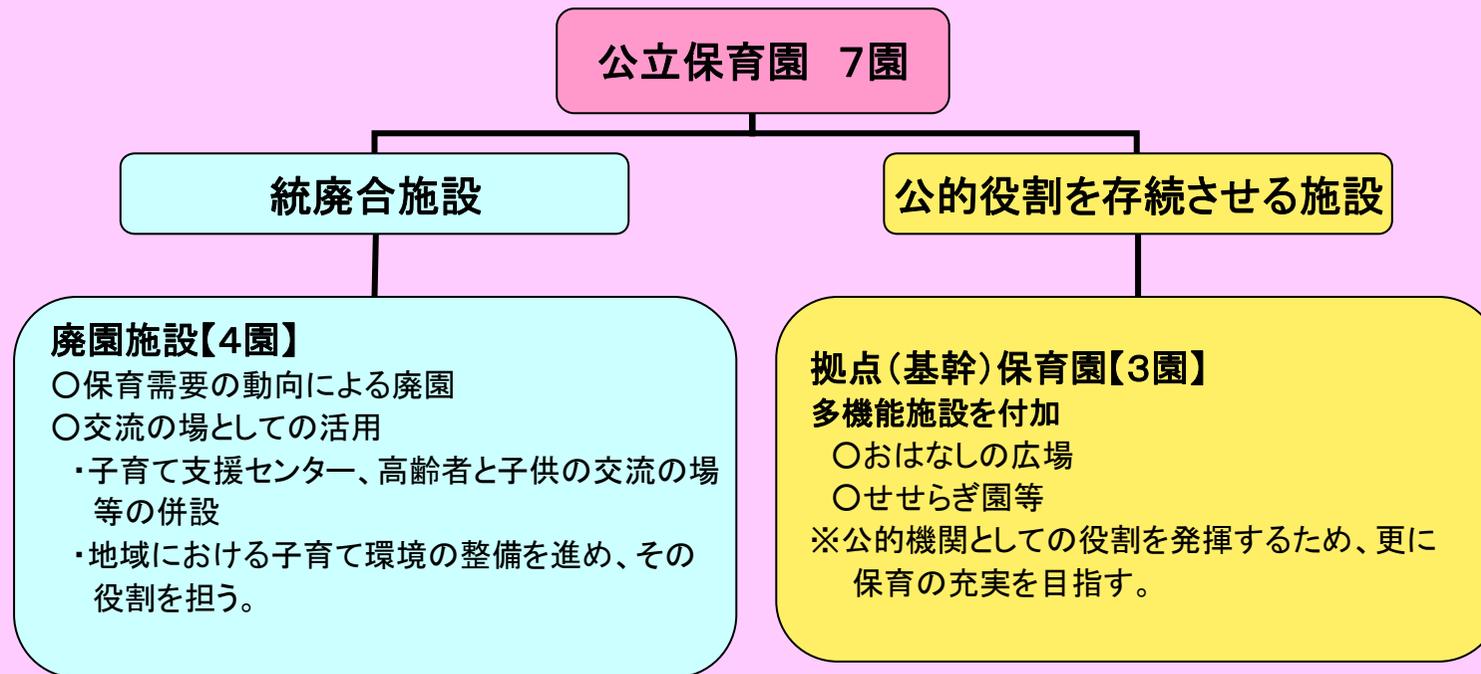
計画のコンセプト

より充実した保育をめざして

- 保育環境の整備と保育条件の統一。
- 0歳児を含む未満児保育・早朝保育・長時間保育・一時保育・障害児保育等の実施。
- 第五保育園へ「おはなしの広場」「せせらぎ園」の併設。
- 3園の定員160人～170人規模。
- 通園バス、駐車場確保の検討。
- 統廃合に伴う子育て環境の充実。



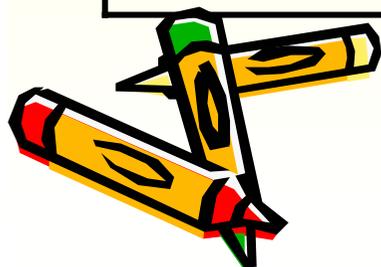
整備の方向について



年次スケジュール

計画期間：平成19年度～平成23年度

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
第一保育園					廃園
第二保育園	耐震診断 意見要望聴取 改築実施設計	解体・改築工事 (休園)			3園スタート
第三保育園				耐震・設計 改修工事	交流センター開設
一ツ浜保育園				改修工事	3園スタート
第五保育園		意見要望聴取 改築実施設計	解体・改築工事 (休園)		3園スタート
第六保育園					廃園
第八保育園					廃園



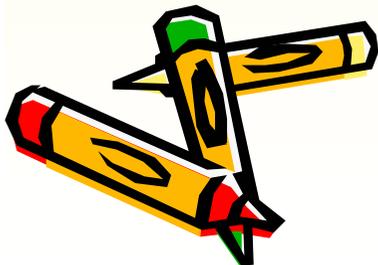
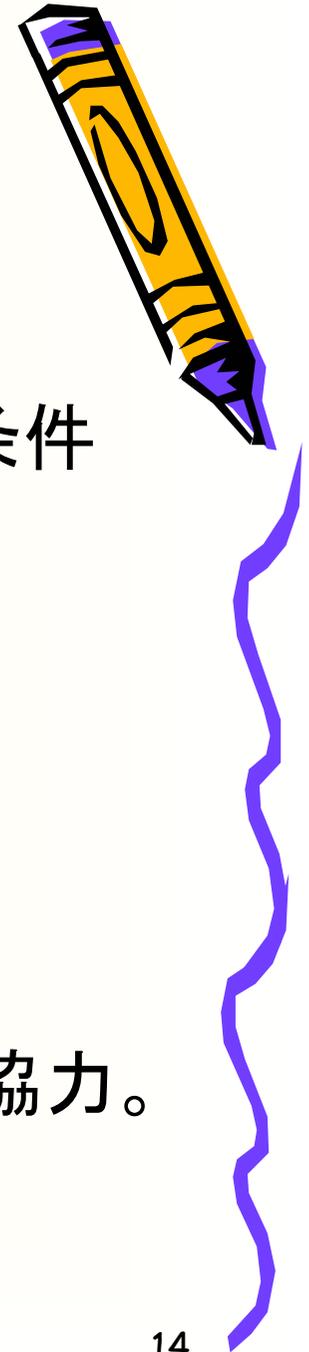
統廃合の解決策

1 行政のできることは何！

- ・保育需要に合った施設、環境の整備と保育条件の充実。
- ・工事期間中の保育対応。
- ・廃園後の活用。

2 保護者の協力は何！

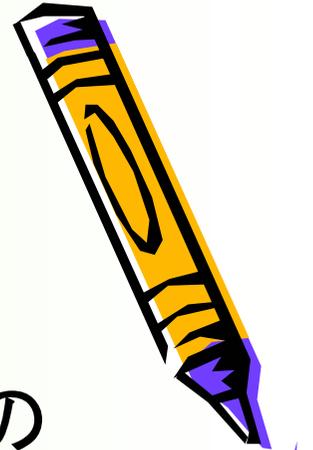
- ・統廃合時及び3園スタート時の園児の送迎。
- ・保育所の施設、環境整備における保護者の協力。



統廃合の課題1

■ 第二保育園改築

- 1 平成20年度の全面改築工事期間中の園児の分散保育はどのような対応となりますか。
- 2 他園で対応した場合、どのような受け入れとなりますか。
- 3 保育条件がある場合の対応はどうなりますか。
- 4 定員規模はどうなりますか。



アンケート結果

- 6月6日付で第二保育園保護者に、分散保育、バス通園等に関するアンケートを実施しました。

その結果は、右記のとおりです。



保育条件なし				年齢:19年度現在		
現年齢	第3保	第5保	第8保	バス利用	一ツ浜	合計
2歳	3	1	1	1	1	7
3歳	2	3	7	5	5	22
4歳	7	6			3	13
5歳	3	5	2	2		12
合計	15	15	10	8	9	57

保育条件あり					
現年齢	第1保	第3保	第6保	その他	合計
0歳	1				1
1歳	1	2	1	1	5
2歳	6	3		1	9
3歳	7	1	2		10
4歳	6	4			10
5歳	4	5			9
合計	25	15	3	2	45

■第二保育園

課題1の1・2解決策<行政>

- ・保育条件のない3歳以上児は、下記の6園で受け入れ可能です。

3歳以上児の受け入れ可能人数

	年少	年中	年長	合計
第一保育園	10	10	0	20
第三保育園	10	14	8	32
第五保育園	23	4	4	31
第六保育園	6	14	15	35
第八保育園	7	18	19	44
一ツ浜保育園	2	5	11	18
合計	58	65	57	180

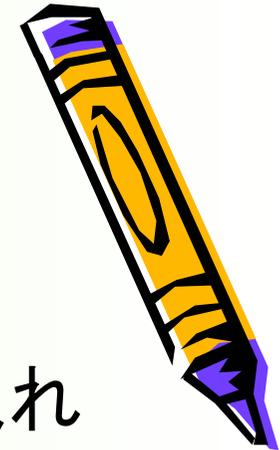


■第二保育園

課題1の3一解決策<行政>

- 保育条件のある園児は、下記の3園で受け入れが可能です。

	0歳児	1歳児	2歳児	合計	早朝・長時間	土曜保育
第一保育園	4	8	12	24	可能	可能
第三保育園	—	—	12	12	可能	—
第六保育園	2	8	12	22	可能	—
合計	6	16	36	58		



■第二保育園

課題1の4—解決策<行政>

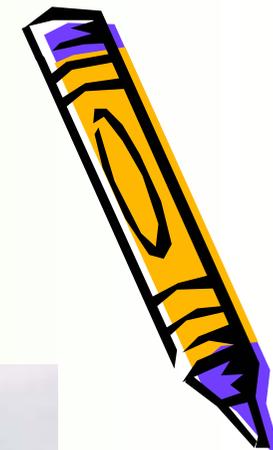
- ・170人規模を計画しています。

現在の敷地内に、170人規模の園舎の建設、園庭の確保を計画しています。

諏訪市:城南保育園(H18開園)



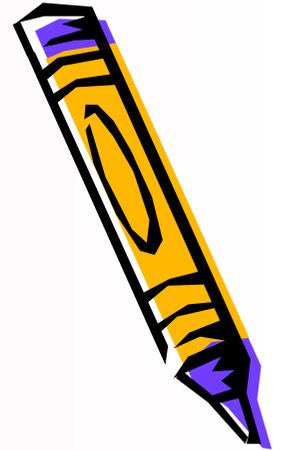
保育園統廃合プロジェクト



統廃合の課題2

■第五保育園改築

- 1 平成21年度の全面改築工事期間中の園児の分散保育はどのような対応となりますか。
- 2 他園で対応した場合どのような受け入れとなりますか。
- 3 定員規模はどうなりますか。



■第五保育園

課題2の1・2解決策＜行政＞

- ・基本的に「第八保育園」への通園を考えています。
その場合は、通園バスの用意、駐車場の確保をしていきます。
- ・学校通学区域を考慮し、「第二保育園」に少しの園児の受け入れも可能です。



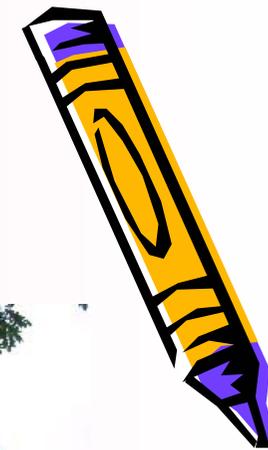
■第五保育園

課題2の3解決策<行政>

- ・170人規模を計画しています。

現在の敷地内に、170人規模の園舎の建設、園庭の確保を計画しています。

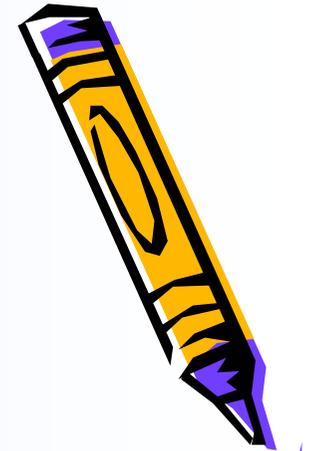
岡谷市
みなと保育園
(H17開園)



統廃合の課題3

■一ツ浜保育園

- 1 どの場所を改修しますか。
- 2 平成22年度の改修工事期間中の対応はどうなりますか。
- 3 定員規模の変更はありますか。



■一ツ浜保育園

課題3の1・2解決策〈行政〉

- ・**玄関のサッシ、東側サッシ**及び**屋根**の改修とその他必要な改修を行います。

1か所毎改修しますので、園児の安全に配慮し、通園には支障ありません。

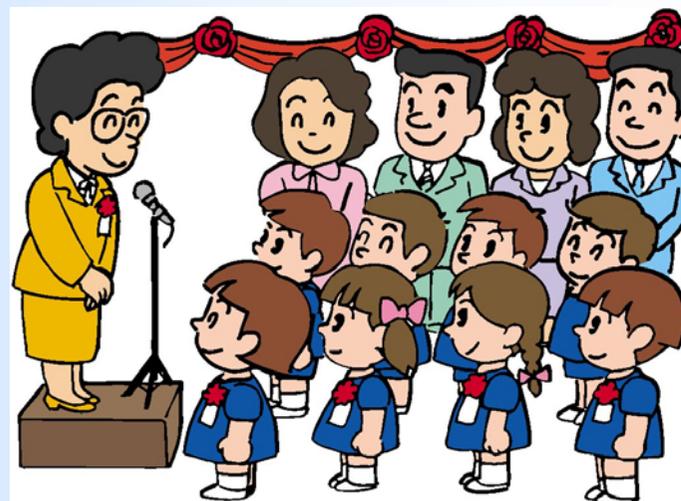


■一ツ浜保育園

課題3の3解決策<行政>

- ・3園同じレベルでの保育をスタートするため、定員規模は、160人とします。

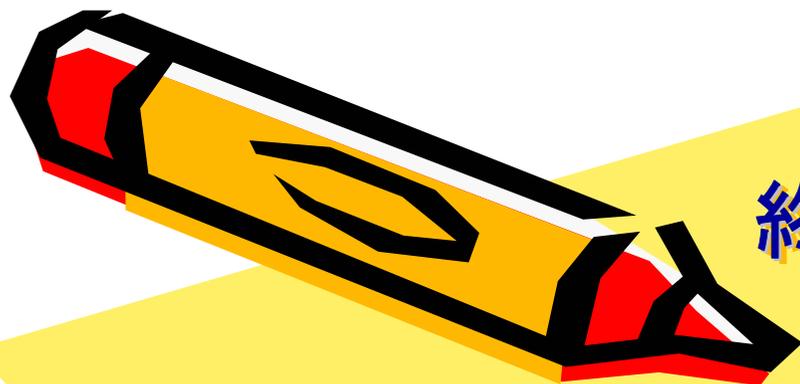
■現行180人→20人減



現行の7園定員合計
750人

	現行	平成23年
第二保育園	150	170
第五保育園	120	170
一ツ浜保育園	180	160
合計	450	500





終わりに

町は次世代を担う子ども達のために、保育内容の質的充実を図り、環境の整備を行うとともに、保育園の適正規模化と効率的な運営に努めます。

今後とも、地域住民と行政が協働して安心・安全な子育て環境の整備づくりを進めます。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

